

# 4.8より前のバージョンのMR2およびADコネクタ用AnyConnect Roamingモジュールの要件の理解

## 内容

---

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[AnyConnectローミングモジュール](#)

[Windows Roaming ClientまたはAnyConnectモジュール](#)

[技術詳細](#)

[オプションA: schusestrongcrypto](#)

[オプションB: SystemDefaultTlsVersions](#)

[Active Directoryコネクタ](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、バージョン4.8 MR2およびADコネクタよりも前のAnyConnectローミングモジュールを使用するための要件について説明します。

## 背景説明

2021年1月27日の時点で、すべてのクライアントはTLS 1.2+を使用してUmbrellaクラウドに接続し、同期、登録、更新を行う必要があります。以前のバージョンを使用しているクライアントは、更新せずにUmbrellaクライアントを引き続き使用するために、手動で調整する必要があります。

## AnyConnectローミングモジュール

### Windows Roaming ClientまたはAnyConnectモジュール

エンドポイントエージェントバージョン：スタンドアロンのUmbrellaローミングクライアントは、現在のバージョンのみをサポートします。古いバージョンはサポートされていません。このバージョンは、.NET 4.6.2+でTLS 1.2をネイティブにサポートします。

次の両方の要件を満たす必要があります。

#### 1. A：クライアントのバージョン

- Cisco AnyConnect with Umbrellaローミングモジュール：バージョン4.8.02042+([リンク](#))  
または

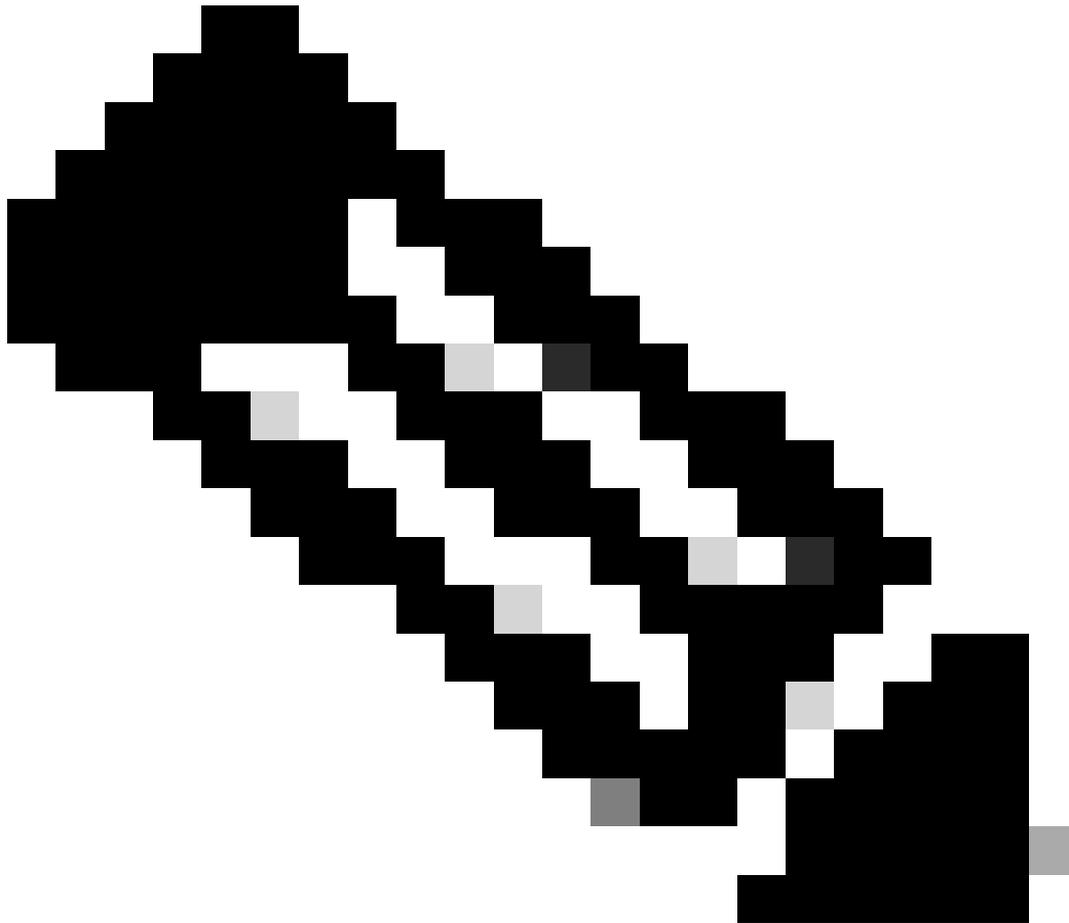
- Cisco AnyConnect 4.3 MR4+およびconfigure TLS 1.2 use with changes to the Windows Registry to expand TLS support to include TLS 1.2:

## 2. B: .NET Frameworkのバージョン

- Microsoft .NET Frameworkバージョン : .NET 4.6.2  
または
- レジストリキーの要件に従った古い.NETバージョン

Windowsバージョン : 7、8、8.1、10

---



注:MacOS Roaming ClientまたはAnyConnect Moduleについては、TLS 1.2サポートのシステム要件に変更はありません。

---

これらの要件を満たしていない場合は、読み続けてください。

## 技術詳細

以前の.NETバージョンがインストールされているかどうかを確認し、Microsoftの記事に従ってレ

レジストリキーを適用します。

AnyConnect 4.8 MR2より前の古いバージョンのクライアントに必要な手順 ( 2から ) :

## オプションA: schusestrongcrypto

このソリューションは、サポートされているセキュアプロトコルを.NET呼び出しのデフォルトに依存するのではなく、TLS 1.0、TLS 1.1、およびTLS 1.2のセットに明示的に設定します。

次に、手順を追ったガイドを示します。

1. Windowsマシンにインストールされている [.NET Frameworkのバージョン](#)を確認します。
2. .NETバージョン4.6.2 ( またはそれ以降 ) だけがインストールされている場合、最新の.NET Frameworkではより強力な暗号で切り替える必要があります。次のレジストリキーを使用します。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\.NETFramework\v4.0.30319]
"SchUseStrongCrypto"=dword:00000001
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Microsoft\.NETFramework\v4.0.30319]
"SchUseStrongCrypto"=dword:00000001
```

SCCM/CLIを使用してこれらの変更を行う例として、PowerShellスクリプトが提供されています。このスクリプトは、そのまま提供されます。

```
# set strong cryptography on 64 bit .Net Framework (version 4 and above)
Set-ItemProperty -Path 'HKLM:\SOFTWARE\Wow6432Node\Microsoft\.NetFramework\v4.0.30319' -Name 'SchUseStrongCrypto' -Value 1
Set-ItemProperty -Path 'HKLM:\SOFTWARE\Wow6432Node\Microsoft\.NetFramework\v4.0.30319' -Name 'SystemDefaultTlsVersions' -Value 1
```

```
# set strong cryptography on 32 bit .Net Framework (version 4 and above)
Set-ItemProperty -Path 'HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\.NetFramework\v4.0.30319' -Name 'SchUseStrongCrypto' -Value 1
Set-ItemProperty -Path 'HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\.NetFramework\v4.0.30319' -Name 'SystemDefaultTlsVersions' -Value 1
```

## オプションB: SystemDefaultTlsVersions

古い.NETバージョンの場合、このオプションは古いクライアントで必要です。.NET 4.6.2+の場合、これはschusestrongcryptoに相当する代替手段です。両方のソリューションが必要です。

このソリューションでは、.NET内でTLSバージョンを決定するのではなく、OSにTLSバージョンの選択を保留します。レガシーコールでシステムがサポートするバージョンを使用できるようにします。ほとんどの場合、これにはTLS 1.2が含まれます。

1. .NET 4.5.1、4.5.2: <https://support.microsoft.com/kb/3156421>が必要

2. Windows 7の.NET 3.5 SP1:<https://support.microsoft.com/kb/3154518>が必要です。
3. Windows 8.1上の.NET 3.5 SP1:<https://support.microsoft.com/kb/3154520>が必要です。
4. .NET 4.6.2+ : 追加の要件なし

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\.NETFramework\v2.0.50727]
"SystemDefaultTlsVersions"=dword:00000001
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Microsoft\.NETFramework\v2.0.50727]
"SystemDefaultTlsVersions"=dword:00000001
```

## Active Directoryコネクタ

サポートされるプラットフォーム : Windows Server 2012以降。

コネクタがWindows Server 2012以降で実行され、.NETバージョン4.xを実行する場合、コネクタはUmbrellaとの通信時に既定でTLS 1.2を使用する必要があります。



注:Windows Server 2008および2008 R2を実行するコネクタのサポートは、Microsoftが2020年1月にこれらのバージョンのサポート終了を発表して以来、終了しています。コネクタの実行を続行するには、サポートされているWindows Serverのバージョンにアップグレードする必要があります。Windows Serverのバージョンをアップグレードできない場合は、コネクタでTLS 1.2を使用してUmbrellaと通信できるようにするために、このシステムに.NETバージョン4.5をインストールしてください。

---

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。